

の事とは思えない程、目を背けたくなるよう
な光景でした。傍には、川がありました。こ
こは火傷を負い、熱さに水を求めた多くの人
がそのまま亡くなった場所ではないかと思
いました。
当時は、薬が足りなく火傷には酢と小麦粉
を塗って代用し、腐ると悪臭がしてハエがた
かり、卵を産み生きている人間にもウジ虫が
わいたそうです。
今は穏やかに何もなかったように流れてい
ます。それだけ、過ぎていくということをも
語っているかのようです。過ぎてしまおうと伝
える人がいなければ、無かったようになり、
また同じ繰り返しをしてしまいかもしれませ
ん。だから、被爆者の鳥越さんは、意を決し
て語ってくださいましたのだと思います。「幸せ
とは呼吸ができること。」という言葉が印象的
でした。平凡な毎日、当り前と思っている事
は、幸せな事で失ってから気づく大切な時間
なのだと気づきました。それなので、毎日笑

顔
で
一
所
懸
命
に
過
ご
し
、
感
謝
の
心
を
忘
れ
な
い
よ
う
に
心
掛
け
た
い
と
思
い
ま
す
。